

# 平成27年度 事業報告

## 1 平成27年度の事業概要

平成26年度の大規模修繕工事完了によって、本法人の運営は、次の段階を視野に入れた事業展開をする時を迎えたといえます。時を同じくして、本年度は国の福祉行政も大きな転換期を迎えておりました。こうした中での事業運営の概要を報告いたします。

その1は、事業内容の拡充・拡大に向けた取り組みです。その1つとして、本年度は、家族に対して将来への要望を問うアンケートを行いました。その結果、相談支援事業とグループホーム設立が急務であることが判明しました。本年度は、そのための情報収集・調査に着手いたしました。

その2は、平成28年3月に成立した改正「社会福祉法」等への対応です。本改正の基本線については、平成27年度は早々から行政の説明・研修等が頻繁に開催され、平成28年度早々施行予定の事項（事業運営の透明性、財務規律の強化など）を中心に法人の体制を整えました。

なお、上記と平行して、「優しさと笑顔が集ういずみの家」を合言葉とした基本方針に沿いつつ、本年度の重点項目に力点を置いた運営を行ってまいりました。各部門については、以下に示します。

また、平成27年10月には埼玉県および桶川市による指導監査を受けましたが、2～3の指摘を受けたのみで大きな問題はなく、法人運営が適正であることが認められました。

## 2 本年度の重点項目

社会福祉法人として公益性が高く、安定した経営が求められる中、平成27年度の重点項目は、(1)健全な施設経営の推進、(2)職員の人材育成と資質の向上、(3)多様な福祉ニーズに対応した質の高い障害福祉サービス事業の提供を掲げました。

### (1) 健全な施設経営の推進

#### ①大規模修繕後の経営健全化

障害福祉サービス等事業収益において、利用者の新規契約者4名の増員、また、利用率の向上により、安定した収入で推移し、前年度と比較し、8,944,631円 110.0%

の増収を計上することができました。

支出については、前年度と比較し、人件費 5,083,148 円 107.8%の増加、事業費△1,150,269 円 89.6%の減少、事務費 1,588,374 円 135.9%の増加という結果になりました。人件費においては、非常勤職員給与が職員の増員により増加し、事務費については、事務消耗品費及び修繕費の増加が起因していると思われます。当期活動増減差額は、3,104,572 円 154.0%の増収を計上することが出来ました。

今期の事業は、支出において課題が残りましたが、法人としての決算については適正に運営され、経営基盤の強化を図ることができました。今後も引き続き、法人の収益性・安定性・持続性・合理性に努め、経営の健全化を推進してまいりたいと思います。

## ②効率的な運営組織の構築

多様な福祉ニーズに即応した柔軟な事業運営を目指し、運営組織の連携強化・運営改善及び活性化に取り組みました。具体的な取り組みとして、直接支援に係わる生活介護事業、就労継続支援B型事業と施設運営を総括的に管理する庶務の業務組織を統制するため、各組織における職員個々の職務・業務分掌とその責務を明確にし、会議等を積極的に取り入れ業務を遂行しました。また、円滑機能的な組織運営を履行するため情報の共有化を図り、強固な体制確立の構築に努めました。

会議においては、役職者による事業所運営を策定する運営統括会議を月1回開催し、事業所の課題・方針・計画等について議論を重ね検討しました。また、運営統括会議での決定事項について熟知し、運営状況の把握、意思疎通等を図るため、職員会議を定期的で開催し、法人職員としての帰属意識を高め周知しました。その他生活介護事業、就労継続支援B型事業においても定期的な会議を開催し、支援について多角的視野から慎重に討議し、支援に反映しました。

## ③事業の透明性の確保

法人の理念・基本方針・組織・業務の活動内容や財務諸表の開示を推進し、法人経営の透明性に努めました。

法人のホームページにおいて、法人の概要・理念と基本方針・生活介護事業、就労継続支援B型事業・各種の活動・地域との交流・ボランティアと求人の案内・販売商品を掲載しました。その中の法人の概要においては、平成26年度の決算報告・現況報告・平成27年度の事業計画・組織図・業務分掌・業務分担表・年間計画を公開しました。また、年1回ではありますが、いずみの家の活動を広く理解していただくため、生活介護事業、就労継続支援B型事業の年間活動や支援内容についての広報誌を発行しました。

今後も、事業内容の情報を広く一般に発信し、公開することにより、開かれた透明性のある法人として、地域における多様な福祉ニーズにきめ細かく対応し、公益

性の高いサービスの提供に努めてまいりたいと思います。

## (2) 職員の人材育成と資質の向上 (別表1・2参照)

職員一人一人が常に課題意識と改善を考えるよう経営意識の促進を図り、職務経歴や職責による職員個々の役割と責任を明確化し、人事評価制度を視野に入れ、組織機能の効率化を図りました。

専門職としての意識を持って職場の問題解決に取り組み資質の向上に努めました。

### ①研修会等による職員のスキルアップ・専門的知識の向上

埼玉県及び埼玉県社会福祉協議会などの主催する研修会には、できる限り職員が受講できるよう配慮し、スキルアップ・専門的知識の向上を図りました。また年3回以上の内部研修を通じて情報の共有化に努めました。

### ②職員の各種資格取得を支援

社会福祉士や精神障害福祉士などの国家資格取得のための研修会を開催し、受験対策に努めました。

## (3) 多様な福祉ニーズに対応した質の高い障害福祉サービス事業の提供

### ① 生活介護事業

#### ◎支援方針

日中活動の場として、常時介助や生活支援等が必要な利用者に対して、日常生活上の支援や介助とあわせて、生産活動や創作的活動、レクリエーション等の活動を提供し、利用者がその個性や能力を発揮して生き生きと生活できるように支援いたしました。

また、各利用者の障害程度や特性等に応じるため、個別支援計画に沿ってその利用者のペースにあわせた支援や介助等に心掛けました。

#### ◎支援の概要

##### ア) 個別支援計画の作成・見直し

- ・計画を作成し、半年ごとに見直しを実施しました。ご家族へ具体的な支援内容を簡潔に提示できるよう書式の見直しを行いました。

##### イ) 日常生活のきめ細かな支援と生活力の向上

- ・各利用者の日常生活能力に応じた支援に努め、その支援に際しては個々の意思や体調面を推し量りながら対応しました。また、家庭からの情報を共有することで、きめ細かな支援が行き届くことができました。

ウ) 身体機能の維持・向上と健康保持

- ・体力維持のため散歩や各利用者に合った機能訓練に取り組みました。利用者によっては訓練メニューを現状に合ったものに見直したことで、ケガ等につながることなく済みました。また保健面においては、熱中症や感染症対策への強化にも努めました。

エ) 発作、転倒等による事故防止

- ・細かいケガ等があったものの、「ヒヤリ・ハット」報告や支援会議において共通認識を図った対応方法等で、再発防止に努めることができました。

オ) 集団内での生活経験の増進

- ・特別活動や外出等を通じて、普段感じることができない体験を重ねることができ、地域での活動やマナーを伝える機会を設けることができました。

②就労継続支援B型事業

◎支援方針

社会活動への参加と自立を目標として、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を提供し、作業能力や意欲等の向上を目指しました。さらに、良好な人間関係の構築や労働習慣・規律等を習得するとともに、就労の基盤となる生活力の向上にむけて支援しました。

また、近隣地域のイベント等に積極的に参加し、地域の人々との交流に努めました。

◎支援の概要

・就労支援

ア) 生産にかかる知識・能力・態度の維持、向上

- ・作業訓練計画に基づき一人一人に合った支援を行いました。
- ・「作業の対価としての工賃」となるよう意識付けを行い、作業意欲の向上を目指しました。また、社会人として挨拶や場面に応じた言葉使いを身に付けられるよう支援しました。

イ) 工賃確保のための作業（製品づくり、商品販売、リサイクル）

(別表3・4参照)

- ・平成27年10月の新米時期より、お米の発送作業や販売を始め工賃の向上に努めました。
- ・請負作業に関しては、品質の向上や納期厳守をさらに強化し、受注数の増量を図りました。

- ・自主生産品については、ねば塾製品の「白雪の詩」を使用して桶川市のゆるキャラ「オケちゃん」を転写した石けんを作成し販売しました。
- ・アルミ缶リサイクルでは、近隣の方々や家族の協力を得て回収量を増やしましたが、新たな回収先の確保には到りませんでした。
- ・販売イベントに積極的に参加し、手芸作品等で売り上げを伸ばし工賃向上の一助となりました。

ウ) 施設外作業（施設外就労等）の支援・拡充（一般就労への接続）

- ・「農業生産法人 株式会社ナガホリ」での施設外支援を継続して実施しました。
- ・「大宮中央青果市場」での施設外就労は、就労形態により近い形で実施され、また新たに7月からは1名追加になり、利用者4名・職員1名で実施しました。

・生活力の向上（別表5・6参照）

ア) 自立生活力・社会生活力の向上

- ・個別支援計画に基づき、一人一人の自立や地域社会で充実した生活を送れることを目標に支援しました。

イ) 自立体験のための活動（委員会、文化活動、特別活動）

- ・給食、環境、保健衛生、掲示の4つの委員会が、自主的かつ責任を持って活動できるよう支援しました。
- ・文化活動においては、ボランティアの協力を得ながら生け花、書道、折り紙、大正琴、音楽広場を実施し、利用者の余暇の充実を図りました。

ウ) 地域の行事への参加（別表7参照）

- ・近隣地域が実施する「高齢者感謝の集い」「川田谷地区体育祭」「氷川神社大祭」等のイベントに参加し、地域の一員として活動を行いました。
- ・近隣道路の清掃活動を行い地域に貢献する活動を行いました。

### 3 施設運営における事故防止と大規模災害に備えての防災対策の強化

(別表8・10参照)

施設事故を未然に防止するため、各種訓練を通じ人命の安全の確保に努め、危機管理に向けての啓発を強化しました。

また、大規模災害の発生に備え、被害の防止と軽減を図れるよう防災体制の充実及び強化に努めました。

- (1) 事故防止についての施設内体制を整備するため、以下のことについて協議し、マニュアル等を作成しました。

- ① 「施設事故防止対策マニュアル」に、さらに「災害時の対応について」を追加作成し、出勤時間等の職員体制、事業別や送迎車別の連絡表や緊急連絡時の役割・内容などの連絡体制等、具体的な職員の対応等を明示しました。
- ② 「防災組織表」について、緊急時における役職者不在の場合の代理職員について、整備しました。
- ③ 新入職員に対し、送迎時の注意点などがわかりやすく理解でき、安心安全に添乗の職務ができるよう「送迎時における心得」を作成しました。
- ④ 送迎について、各ドライバーが共通認識のもとに運転できるよう、ルートや時間、悪天候時や災害時などの対応等について協議しました。さらに「送迎ルート地図」、「送迎時間表」「送迎コースについて」を作成しました。

(2) 災害発生に備えて、以下の食品・備品等を整備しました。

- ① 食品、及び食品に関わる備品類
  - ア) 水、ご飯、パン、カレー
  - イ) 紙コップ、紙皿、プラスチックスプーン
- ② 備品類
  - ア) 毛布
  - イ) 非常用トイレ
  - ウ) ヘルメット
- ③ 医薬品、及び衛生用品
  - ア) 頭痛薬、胃腸薬、下痢止め、風邪薬、点眼薬
  - イ) 紙パッド、ナプキン

## 4 地域社会との協力関係の推進

地域社会に理解され、相互協力と連携を深めるため、施設からの情報を提供するとともに、地域の行事、訓練等への参加やボランティア・地域文化等の受け入れを積極的に推進しました。

社会福祉法人として地域社会に必要とされる福祉サービスを模索しましたが、実施するには至りませんでした。

- (1) 「地域公益活動」への取り組みを強化
  - ・平成 27 年度は実施出来ませんでした。今後の社会福祉制度改革の動向を見ながら次年度の課題としていきます。
- (2) 地域の行事等への積極的参加

・別表7「地域交流実施報告書」参照

## 5 家族との信頼関係の構築

充実した支援サービスを提供するため、家族との親睦や交流を深め、利用者・職員・家族の信頼関係をさらに推進しました。

個々の家族からの視点を「はばたき会」の場において建設的に意見を取り交わし、支援及び施設への要望について積極的に取り組みました。

### (1) 家族との意見交換を通じての支援サービスの向上

利用者やその家族の高齢化にともない「はばたき会例会」において、保護者の協力をいただき「わかりやすい成年後見制度について」というテーマで「NPO 法人埼玉成年後見センターいきいきネット」理事の高野 淑恵氏を講師としてお招きし、勉強会を開くことができました。難しいというイメージを持つ方が多かった「成年後見制度」について、資料を交えた講演に、より身近に感じさせていただく機会となりました。講演を通じて、参加された保護者と様々な意見も交換でき、今後の支援の向上のための機会となりました。

### (2) 家族との連絡を密にし連携を強化

連絡ノートを通じて職員と家族との連絡を密に図ることにより、利用者や家族の要望や心配事などを早い段階で察知することに努めました。

## 6 適切な施設情報の発信

施設運営において積極的に事業や活動の情報を発信し、利用者・家族・福祉関係者に情報を開示し組織の信頼性を高めることに努めました。

広報活動を効果的に発信するため、広報の目的や対象者を明確化し、ホームページや広報等の内容の充実を図りました。

### (1) ホームページにおいて法人の理念、施設の活動等を広く情報発信

ホームページにおいて、法人の理念をはじめ、「平成26年度事業計画」、「平成26年度決算報告」及び「平成26年度現況報告」等を公開することで経営の透明化を図ることができました。

(2) 広報誌「いずみ野」の発行に際し、包括的な視点から施設活動を発信

広報誌「いずみ野」を通じて大規模修繕の様子や就労継続 B 型事業の作業について写真やイラストを使って広く紹介でき、いずみのの家での生活をより多くの方に知っていただくことができました。

## 7 利用者の意思と人権を尊重した人権擁護と虐待防止の徹底

利用者一人一人の権利擁護や人権を尊重し、差別のない地域社会でその個性や能力を充分発揮できるよう支援に努めました。

障害者の尊厳を守り、自立や社会参加の妨げとならないよう虐待の禁止・予防と早期発見に取り組み、組織体制の整備を図りました。

## 8 個人の権利利益を保護し、個人情報の有用性に配慮した適切な取り扱いを実施

利用者等の個人情報に関し、適正かつ適切な取り扱いに努力するとともに、広く社会からの信頼性を得るため組織体制を確立し、個人情報の保護に努めました。

個人情報を保護するため、適切な取得・利用・開示・委託等について事業者としての立場を遵守し、安全管理に努めました。

### (1) 個人情報管理の適正化

利用者及びその家族の個人情報を利用者及びその家族と取り交わした「個人情報の使用に係る同意書」において、その利用期間、利用目的及び条件に沿い適切な使用に努めました。

### (2) 職員の守秘義務意識の徹底

個人情報については施設外には一切持ち出さず、また厳重に保管することで、徹底した管理を行うことができました。

## 9 行政及び関係諸機関との連携の推進

行政や医療機関及びサービス提供事業者との連携を図り、情報の共有化を推進することで、社会貢献の向上を目指しました。

各種施策や施設整備の充実を図るため、行政及び関係諸機関に対し、意見の交換や要望に取り組みました。

【別表1】外部研修実施報告

実施日	研修名	主催者	開催場所	
5/11 5/12	福祉職員キャリアパス対応生涯研修・中堅職員	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
5/13	メンタルヘルス推進者研修	埼玉県 社会福祉協議会	北浦和ターミナルビル	
5/18 5/20	福祉職員キャリアパス対応生涯研修チームリーダー	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
6/10	埼玉県第1回経営協セミナー	埼玉県経営者協議会	彩の国 すこやかプラザ	
6/15	「工賃向上研修会」及び「障害者就労施設現場カイゼン事業」	埼玉県	埼玉会館	
6/16	新任職員研修会	埼玉県 発達障害福祉協会	彩の国 すこやかプラザ	
6/18 6/19	甲種防火管理新規講習	埼玉県央広域 消防本部	埼玉県防災学習センター	
6/26	感染症基礎研修	埼玉県 社会福祉協議会	埼玉会館	
7/8・9	接遇推進者養成研修	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
7/21	B C P(事業継続計画)研修	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
8/21	工賃向上の為に成果が出る考え方行動の仕方	関東社会就労 センター協議会	日本財団	
8/31	社会福祉法人監査研修	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
9/11	財務管理研修	埼玉県 社会福祉協議会	さいたま商工 会議所	
10/21	安全運転管理者講習	埼玉県安全運転 管理者協会	大宮ソニックシ ティホール	
11/16 12/16	新任職員フォローアップ 研修	埼玉県 社会福祉協議会	埼玉建産連研修 センター他	
11/24	施設見学会 (川本園・おにっこハウス)	埼玉県 発達障害福祉協会	川本園 おにっこハウス	

実施日	健襲名	主催者	開催場所	
12/10	社会福祉施設職員等退職手当共済制度実務研修	独立行政法人福祉医療機構	J A 共済ビル	
1/5	福祉サービス苦情解決セミナー	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
1/21	施設長及び幹部職員研修会	埼玉県 発達障害福祉協会	彩の国 すこやかプラザ	
2/2	社会福祉法人管理者研修	埼玉県	さいたま市民会館	
12/16 1/12 2/9	埼玉県障害者虐待防止・権利擁護研修 (共通・A・Bコース)	埼玉県 社会福祉協議会	ウエスタ川越他	
2/22	農業参入と参入後のレベルアップの為のマニュアル発表会	埼玉県中小企業診断協会農福連携委員会	埼玉県県民健康センター	
2/25 2/26	第2回防火管理講習	埼玉県央広域消防本部	埼玉県防災学習センター	
2/25	公正採用選考人権啓発推進員研修	厚労省埼玉労働局職業安定部	さいたま商工会議所	
3/2	マイナンバー制度研修	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	
3/9	第2回社会福祉法改正研修	埼玉県 社会福祉協議会	彩の国 すこやかプラザ	

【別表2】内部研修実施報告

実施日	研修内容	
7/10	感染症について	
12/10	福祉系国家資格受験対策研修	
2/2	福祉サービスに関する苦情解決について	
3/25	虐待防止研修	

【別表3】作業収支

	総収入	工賃総支給額	一人当たりの 平均工賃額(月額)
18年度	440,000	354,000	1,475
19年度	1,089,000	803,000	3,863
20年度	1,214,000	844,000	3,963
21年度	1,555,424	1,011,030	4,358
22年度	2,381,591	1,484,619	5,487
23年度	2,289,134	1,458,310	4,927
24年度	2,373,385	1,568,295	5,353
25年度	2,590,611	1,843,240	6,445
26年度	2,758,329	1,898,478	6,592
27年度	3,405,851	2,245,842	7,245

【別表4】作業種別別作業収支

		25年度	26年度	27年度
作業種別別収入	製袋作業	523,430	507,938	543,392
	袋詰め作業	105,972	28,100	
	組み立て作業	78,739	47,591	71,936
	箱折り作業	66,982	61,138	32,930
	印字作業	90,847	148,716	161,838
	組み付け作業		109,180	148,793
	シール貼り作業		27,324	0
	米等封入作業			101,272
	石けん作業	210,481	200,457	166,887
	手芸	134,710	191,740	223,850
	仕入れ販売(石けん)	250,335	239,235	272,835
	仕入れ販売(味噌)	423,425	383,770	421,301
	仕入れ販売(米)			429,840
	アルミ缶リサイクル	87,360	92,890	107,160
	古紙リサイクル	3,990	6,477	1,890
	除草作業	288,910	282,660	264,060
	施設外支援	96,750	105,500	66,000
	施設外就労		71,928	126,792
	イベント食品販売		225,372	218,877
	その他	228,680	28,313	46,198
総収入	2,590,611	2,758,329	3,405,851	

【別表5】委員会活動表

	回数	主な内容
給食献立 委員会 (6名)	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当番による毎日の配膳、後片付け、清掃</li> <li>・給食配膳当番の内容の点検、確認、問題点等について話し合い、改善しました。</li> <li>・希望メニューの確認</li> </ul>
保健衛生 委員会 (5名)	1回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歯ブラシ、コップの消毒(月1回)</li> </ul>
環境委員会 (11名)	随時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花植え、管理</li> <li>・施設内外の清掃、除草</li> <li>・毎月第3火曜日の地域清掃</li> </ul>

【別表6】定例活動報告

定例活動	実施回数	主 な 活 動 内 容
大正琴	22回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を有するボランティア（2名）の協力を得て活動を支援しました。また地域の行事に参加して演奏しています。</li> <li>いずみの学園まつり 7/23</li> <li>高齢者感謝の集い 9/27</li> <li>市民まつり 11/3</li> </ul>
書道	11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を有するボランティア（2名）の協力を得て活動を支援しました。</li> <li>・「桶川市民芸術文化祭・第14回総合アート展」に出展。</li> <li>・おけがわ市民芸術文化祭公募事業「ハートフルアート展」に出展。</li> <li>・武蔵野銀行桶川支店ロビーに1ヶ月間作品を展示。</li> </ul>
生け花	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を有するボランティア（1名）の協力を得て活動を支援しました。</li> <li>・「おけがわ市民芸術文化祭・第14回総合アート展」に出展。</li> </ul>
折り紙	11回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を有するボランティア（5名）の協力を得て活動を支援しました。</li> <li>・完成した折り紙を保存し、利用者が作成した折り紙作品を展示。</li> <li>・武蔵野銀行桶川支店ロビーに1ヶ月間作品を展示。</li> </ul>
音楽広場	18回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を有するピアノボランティア（1名）の協力を得て活動を支援しました。</li> <li>・余暇活動として歌を歌ったり、踊ったりし、楽しむ時間を持つことができました。</li> </ul>

【別表7】地域交流実施報告

実施日	時間	内容	参加者
5月下旬		川田谷地区 広報誌「いずみ野」回覧	
7/4 (土)	10:00 ～ 11:30	ふれあい地域交流 合唱サークル「コールビオレット」 場所…いずみの家 内容…コーラスを鑑賞した後、一緒に歌って交流を深めた。	コールビオレット 15名 利用者 38名 職員 21名
7/23 (木)	16:00 ～ 17:00	学園まつり 場所…いずみの学園 内容…大正琴「たんぼぼの会」出演	たんぼぼの会 6名 ボランティア 2名 職員 4名
9/27 (日)	13:00 ～ 16:00	川田谷地区高齢者感謝のつどい 場所…川田谷生涯学習センター 内容…大正琴「たんぼぼの会」出演 石けん・手芸品販売	たんぼぼの会 6名 ボランティア 2名 職員 3名
10/11 (日)	8:30 ～ 19:00	氷川神社大祭 場所…氷川神社 内容…大祭においてフランクフルト、石けん等の販売	職員 3名
10/18 (日)	9:00 ～ 15:00	川田谷地区体育祭 場所…城山公園多目的グラウンド 内容…玉入れ競技参加予定、綿あめ、石けん・手芸等の販売	職員 3名
11月 上旬		特別栽培米「ひとめぼれ」販売チラシ配布 三田原地区	

【別表 8】 訓練実施報告

実施日	時間	内容	参加者
7/24(金)	15:10～ 15:30	水害の避難訓練 集中豪雨や台風、それに伴う川の氾濫等を想定し、安全な場所に避難した後、帰所	職員 16名 利用者 43名
8/25(火)	13:30～ 14:30	消火訓練 ※消防署員による指導 火災発生時において、速やかに且つ安全確実に消火活動するための実地訓練	職員 16名 利用者 41名
9/17(木)	10:00～ 11:00	地震発生時の避難訓練 地震の発生を想定し、その対応と、避難場所への安全、速やかな移動	職員 15名 利用者 42名
11/17(火)	13:00～ 15:00	応急救護訓練 ※消防署員による指導 緊急時における心肺蘇生法やAEDの使用 方法、異物除去と回復体位	職員 16名 利用者 44名
2/19(金)	10:30～ 11:30	総合防災訓練 ※消防署員による指導 いずみの学園からの火災発生を想定し、通報・避難・消火の合同訓練	職員 18名 利用者 47名

【別表9】施設年間報告

実施月	項目	実施内容
4月	消防計画変更届	4/15 (水) 埼玉県央広域桶川消防署へ提出
	退職共済加入	4/17 (金) 掛金納付対象職員届(独)福祉医療機構へ送付 5/8 (金) (独)福祉医療機構へ振込み
5月	事業報告書	5/8 (金) 「平成26年度事業報告」起案作成 5/23 (土) 理事会評議員会で承認、後配布
	広報誌発行	4/22 (水) 第25号「いずみ野」3,000部納品 5/15 (金) 各諸機関発送、配布
	職員健康診断	5/27 (水) 定期健康診断集団検診(はにわの里) 職員5名受診 6~9月 生活習慣病予防健診6名個別受診
6月	消防設備点検	6/11 (木) 協防災(株)による消火器、自動火災報知設備、消防機関へ通報する設備、誘導灯の点検 いずれも良判定
	労働保険年度更新	6/23 (火) 労働保険料申告書埼玉労働協局へ提出 6/24 (水) 埼玉労働局へ振込み
7月	算定基礎届	7/3 (金) 桶川市商工会館で関係諸帳簿確認の上、提出 8/6 (木) 決定通知受領
	避難訓練(水害)	7/24 (金) 訓練実施報告参照
8月	消火訓練	8/25 (火) 訓練実施報告参照
9月	避難訓練(地震)	9/17 (木) 訓練実施報告参照
11月	応急救護訓練	11/17 (火) 訓練実施報告参照
12月	消防設備点検	12/11 (金) 協防災(株)による消火器、自動火災報知設備、消防機関へ通報する設備、誘導灯、配線の点検 いずれも良判定 12/18 (金) 協防災(株)より消防署へ結果を届出
	年末調整	11月 保険料控除申告書兼配偶者特別控除申告書、扶養控除等申告書の配布、回収 12/15 (火) 年末賞与支給時に過不足金調整
1月	法定調書	1/21 (木) 上尾税務署提出
2月	総合防災訓練	2/19 (金) 訓練実施報告参照
3月	事業計画書	3/2 (水) 平成28年度事業計画書(案)起案作成 3/26 (土) 理事会評議員会で承認
	全社協賠償保険	1/6 (水) 「しせつの損害補償」に申込み 1/13 (水) 全国社会福祉協議会に振込み

【参考資料】 No. 1

# 利用者状況

※「生活」～生活介護事業 「就労」～就労継続支援B型事業と表記

平成28年3月31日現在

## 1. 定員及び契約者数 (単位=人)

	定員	契約者数
生活	20	26
就労	20	27
計	40	53

	男性	女性	計
生活	18	8	26
就労	16	11	27
計	34	19	53

## 2. 年間入退者数 (単位=人)

	前年度末	新規	退所	当年度末	増減
生活	25	2	1	26	+1
就労	25	2	0	27	+2
計	50	4	1	53	+3

※3月31日付退所者は翌年度に計上

## 3. 平均実利用者数 (単位=人)

	全利用者延べ人数	開所日数	平均利用者数
生活	5,219	255	20.4
就労	5,876	258	22.8

## 4. 年齢別 (単位=人)

事業区分	年齢	20才未満	20~29才	30~39才	40~49才	50才以上	計
	性別						
生活	男	2	5	3	6	2	18
	女	0	2	1	5	0	8
就労	男	0	8	2	3	3	16
	女	0	1	1	7	2	11
合計		2	16	7	21	7	53

(単位=才)

事業区分	年齢 性別	最高年齢	最低年齢	平均年齢
生活	男	67	19	37.2
	女	48	20	37.9
就労	男	59	22	35.7
	女	65	24	44.6

生活平均年齢=37.4 就労平均年齢=39.3 全体平均年齢=38.4

5. 在所年数 (単位=年)

年数		1年未満	1~3年 未満	3~5年 未満	5~10年 未満	10~15年 未満	15年 以上	計
生活	男	2	0	1	4	1	10	18
	女	0	1	0	1	1	5	8
就労	男	0	1	2	7	2	4	16
	女	2	0	0	2	1	6	11
計		4	2	3	14	5	25	53

6. 障害程度区分 (生活のみ) (単位=人)

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男	0	0	1	4	10	3	18
女	0	0	0	2	4	2	8
計	0	0	1	6	14	5	26

7. 療育手帳保持者 (単位=人)

事業区分	判定 性別	㊸	A	B	なし	計
	生活	男	13	4	0	1
女		7	1	0	0	8
就労	男	1	10	5	0	16
	女	0	8	3	0	11
計	男	14	14	5	1	53
	女	7	9	3	0	

8. 身体障害者手帳保持者 (単位=人)

事業区分	性別	人数	計
生活	男	8	9
	女	1	
就労	男	3	4
	女	1	
計	男	11	13
	女	2	

9. 精神障害者手帳

事業区分	性別	人数	計
生活	男	0	0
	女	0	
就労	男	1	1
	女	0	
計	男	1	1
	女	0	

10. 市町村別内訳

(単位=人)

	桶川市	北本市	上尾市	鴻巣市	久喜市	合計
生活介護	18	6	1	0	1	26
就労継続	22	3	0	2	0	27
計	40	9	1	2	1	53

## ボランティア受け入れ状況

平成27年度

	参加人数	実施回数	延べ人数	内 容
折り紙教室	3	11	33	利用者への折り紙の指導 (月1回)
生け花教室	1	11	11	希望利用者への生け花の指導 (月1回)
書道教室	4	11	26	希望利用者への書道の指導 (月1回)
音楽広場	1	21	27	音楽指導とピアノ伴奏 (月2回)
生 け 花	1	32	32	玄関を飾る生け花
大正琴活動	2	21	27	利用者への大正琴指導
日中活動	4	16	29	作業の手伝い、散歩の介助等
特別活動	2	15	35	特別活動手伝い等
桶川市社協ボラン ティアスクール	0	0	0	作業の手伝い、散歩の介助等
合 計	18	138	220	

種 別	主 な 内 容
給 食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康的でバランスのとれたおいしい食事を提供しました。</li> <li>・ 利用者からの要望・嗜好・意見等を聞き、選択メニューや行事食を実施しました。 (選択メニュー44回 行事食4回)</li> <li>・ 利用者給食献立委員会への支援を行いました。</li> <li>・ 食育を進めました。</li> <li>・ 調理室の消毒、食材の適切な管理など、安全な給食に努めました。</li> </ul>
保健・衛生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 嘱託医による健康相談や定期健康診断を実施しました。 (5～6月)</li> <li>・ 毎月、血圧・体重測定を実施しました。</li> <li>・ 利用者保健衛生委員会への支援を行いました。</li> <li>・ 食中毒やインフルエンザ等の感染症予防についての啓発プリントの配布等を行いました。</li> </ul> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding-left: 5px; margin-left: 20px;"> <p>6月 食中毒及び熱中症について</p> <p>12月 インフルエンザ・ノロウィルス・結核等の予防について</p> </div>
音 楽 療 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 月2回(主に第1・第3金曜日)音楽療法士によるセッションを実施しました。(24回)</li> <li>・ 音楽療法士が参加利用者のニーズに沿って「療法目標」と実施日の「プログラム」を作成しセッションを行いました。</li> </ul>
送 迎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通所の利便のため、マイクロバス等による4コースの送迎を行いました。</li> </ul>

月	行事内容
4	・入所式 ・新規利用者歓迎ハイキング（上尾市 榎本牧場） 〈合同〉
5	・外出（川島町 平成の森公園） 〈事業別 生活介護〉 ・外出（北本市 IVY BOWL にてボウリング） 〈事業別 就労継続〉 ・外出（川田谷生涯学習センターにてフットベース） 〈合同〉 ・『おけがわ春のふれあいフェスタ』参加 〈事業別 就労継続〉 ・利用者健康診断（～6月）
6	※予定行事なし
7	・地域交流会（招待）「合唱サークル“コールビオレット”によるコンサート」 ・避難訓練（水害）
8	・暑気払い（はばたき会との交流会） 〈合同〉 ・消火訓練
9	・外出（鴻巣市 防災学習センター） 〈合同〉 ・避難訓練（地震） ・日帰りバス旅行（山梨県河口湖周辺 リニア館他）
10	・外出（川田谷 旧陸軍飛行学校桶川分教場跡地見学 ～ a.m.）及び招待（「加賀四三バンド」によるコンサート ～ p.m.） 〈合同〉 ・外出（さいたま市 大宮花の丘農林公苑） 〈事業別 生活介護〉 ・外出（上尾市 矢島園お茶工場見学） 〈事業別 就労継続〉 ・日産労連主催による観劇（チャリティーきゃらばんによる「3びきのこぶた」）
11	・市民まつり（フランクフルト・石けん等の販売と大正琴演奏） 〈事業別 就労継続〉 ・招待（ボランティアグループ「さんふらわぁ」によるパネルシアター） 〈合同〉 ・外出（騎西特別支援学校の文化祭見学と販売） 〈合同〉
12	・日産労連主催による観劇 劇団四季による「人間になりたがった猫」（東松山市民文化センター） 〈希望者のみ〉 ・クリスマス会 〈合同〉
1	・初詣（さいたま市 秋葉神社 a.m.）及び成人を祝う会（p.m.） 〈合同〉
2	・総合防災訓練 ・外食（上尾市 レストラン「ワンポイント」） 〈事業別 生活介護〉 ・外食及びカラオケ（川田谷 「山中」） 〈事業別 就労継続〉
3	・料理教室（餃子づくり） 〈合同〉

